兵道けんじニュース

発行者　公明党甲府市議会議員
兵道顕司
甲府市中村町１５－６
TEL/FAX055-237-9529

2024.4
VOL.３３

ホームページもご覧ください
http://www.komei.or.jp/km/kofu-hyodo-kenji/

能登半島大地震で未だ復興の光明が見いだせない中で甲府市議会も３月定例会が開かれ、私も委員として参加した予算特別委員会で、令和６年度の当初予算が審議されました。

一般会計予算は過去最大規模の約８００億円が計上され、会計年度任用職員の勤勉手当新設や、物価高騰対策、また、甲府城南側における歴史文化交流施設整備など、甲府を更なる発展衣導くための積極的な施策などが盛り込まれました。コロナ後を見据えた意義深い予算として、予算特別委員会での審議後原案通り可決されました。

今回は予算特別委員会での総括質問の概要についてまとめました。
新年度もさらに役に立つ議員となるよう全力で働いて参ります。

これまでの本会議での質問動画→　甲府市議会インターネット中継
（https://kofu-city.stream.jfit.co.jp/?tpl=speaker_result&speaker_id=58）

予算特別委員会総括質問その１

◎総合計画満了間近の令和６年度予算について

目標とされた都市像の実現度の評価と次計画策定の考え方について質しました。

→①　国に先駆けて進めてきた子育て施策の推進、開府５００年を通じた郷土愛の醸成などによる人づくり、都市観光の拠点となる甲府城周辺整備や日本遺産の御嶽昇仙峡などの地域資源を生かした活力の創出、ゼロカーボンシティの取り組みなどが都市像実現に寄与している、

→②　次期総合計画は、策定過程での市民参画を重視し、市民の理解と協力のもと策定していく

予算特別委員会総括質問その２

◎再び転出超過となったことから改めて選ばれるまちについて

→　子育て世代が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを加速させること、子どもたちの「個別最適な学び」をさらに進める先駆的な取り組みを展開すること、さらに充実した雇用機会の確保を進めるとともに、甲府のまちに住みたいと思っていただけるよう移住定住に直結する相談支援や郷土愛の醸成など、選ばれるための取組みを進める

予算特別委員会総括質問その３

◎新たな地域資源となりうる給水スポットの取組みについて

まちの回遊性と甲府のおいしい水というコラボが甲府城南側エリアの整備と動物園の再整備などと連動して大きな人の流れが期待される、給水スポットの増設について伺った

→　甲府駅南口の観光案内所への給水スポットの設置が明言されたほか、もう一か所も検討中の模様。

※　給水スポットについては、ペットボトル削減のためのマイボトル利用の促進、熱中症対策のための水分補給、モンドセレクション最高金賞受賞の甲府の水道水の一層のＰＲなど、多くの狙いがある。

令和４年６月定例会代表質問でとりあげ、昨年６月第１号が市役所１っ回に設置された経緯があります。

予算特別委員会総括質問その３

◎動物愛護の取組みについて

飼い主のいない猫に対して地域猫活動の理解促進につながるよう、トイレ設置費用の助成制度が計上されており、こうしたことを含めて動物愛護の取組みについて伺いました。

→　今後さらに遊亀公園附属動物園とも連携して、命の大切さを学び、また情操の涵養にもつなげていく、

今後の議会の課題について

（１）決算審査結果の次年度以降の予算への反映について

○議会基本条例で決算で抽出された課題を予算へ反映させるサイクルについて規定。（いわゆる PDCA サイクル）

○しかし、抽出された課題が本会議で決議されておらず、議会としての意思とはなっていないのが現状です。

○付帯決議とまでいかなくとも本会議に議題として上程して決議して議会の意思として示す手続を制度化すべきです。

（２）市民意見を起点とすることについて

現在市民との意見交換会を行っているものの、政策立案にまで至っていないため、改善の余地があります。